



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本興業株式会社

コード番号 5279 URL <http://www.nihon-kogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 多田 綾夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務人事部長

(氏名) 山口 芳美

TEL 087-894-8130

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	9,013	10.4	55	—	89	180.8	42	—
27年3月期第3四半期	8,162	1.0	△3	—	31	△31.4	2	△81.7

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 21百万円 (△59.9%) 27年3月期第3四半期 53百万円 (△7.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	2.90	—
27年3月期第3四半期	0.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	14,822	6,246	42.0
27年3月期	15,822	6,271	39.6

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 6,232百万円 27年3月期 6,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	1.8	300	9.0	320	2.7	175	1.9	12.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注) 特定子会社の異動には該当しませんが、当第3四半期連結会計期間よりエヌアイシー株式会社を連結の範囲に含めております。詳細につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	15,321,000 株	27年3月期	15,321,000 株
28年3月期3Q	737,796 株	27年3月期	736,373 株
28年3月期3Q	14,584,106 株	27年3月期3Q	14,585,273 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の推し進める経済、財政政策や円安、原油安を背景に企業業績や雇用情勢に改善が見られた一方、中国を始めとする新興国の景気減速による影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループ（当社および子会社）は、販売部門においては、各支店に配置した営業推進部を中心に役所やコンサルへの提案営業を強力に推進するとともに、本年度10月1日付にて茨城県内のコンクリート二次製品メーカーとの合併の販売会社「エヌアイシー株式会社」を設立し、市場規模の大きい東日本での土木資材事業の本格的な展開を開始させるなど、当社製品の拡販に向けて注力してまいりました。また、生産部門においても、各工場の生産性の改善に取り組むとともに、連結子会社の株式会社サンキャリアにおいて本年度4月に新設した鉄工部により、当社グループ向けの型枠製作や鉄筋加工の内製化を通じて原価の低減を推し進めるなど、グループ一丸となって収益の向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、特に景観資材事業が大きく売上を伸ばしたことにより、売上高は90億13百万円（前年同期比10.4%増）、損益面では、内製化による原価の低減が寄与したことなどにより、営業利益55百万円（前年同四半期は3百万円の損失）、経常利益は89百万円（前年同期比180.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は42百万円（同1,659.2%増）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(セグメント別売上高の状況)

区分	期別	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間	
		金額	構成比	金額	構成比
		百万円	%	百万円	%
土木資材事業		5,028	61.6	5,447	60.4
景観資材事業		2,197	26.9	2,562	28.4
エクステリア事業		937	11.5	1,003	11.2
合計		8,162	100.0	9,013	100.0

(土木資材事業)

公共工事については発注物件の減少や遅延などの影響が残るも、四国における大型物件の進捗により遊水池などの貯留・防災製品が引続き好調であったほか、東北における震災復興物件においても、高台移転による宅地造成に用いられる擁壁製品や水路製品が堅調に推移したことに加え、エヌアイシー株式会社を新たに連結対象に含めたことにより、当セグメントの売上高は54億47百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

(景観資材事業)

営業推進部を中心に仕様化や設計折込みを強力に推し進めた結果、主力製品であるバリアフリータイプや透水・保水タイプの舗装材が東日本を中心に大きく売上を伸ばしたほか、擬石ファニチュアも好調を維持したことから、当セグメントの売上高は25億62百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

(エクステリア事業)

住宅関連市場において需要の回復が進むなかで、製品の品揃えを図るとともに、エクステリア製品の販売部門を担当する連結子会社のニッコーエクステリア株式会社においてハウスメーカーへの拡販を推し進めた結果、集合住宅向けのガーデン関連製品が堅調に推移したことから、当セグメントの売上高は10億3百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて9億99百万円減少し、148億22百万円となりました。これは主に、売上高に季節的変動があることで、売上債権の受取手形及び売掛金が13億6百万円減少したものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて9億74百万円減少し、85億76百万円となりました。これは主に、売上高の季節的変動に伴い、仕入債務の支払手形及び買掛金が5億48百万円減少、ならびに借入金金が6億9百万円減少したものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて25百万円減少し、62億46百万円となりました。この結果、自己資本比率は、42.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、平成27年10月30日に発表しました業績予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第3四半期連結会計期間より、エヌアイシー株式会社を新たに設立したため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	928,641	1,082,117
受取手形及び売掛金	5,323,450	4,016,531
電子記録債権	237,317	260,236
商品及び製品	1,090,862	1,272,279
仕掛品	62,180	87,891
未成工事支出金	874	—
原材料及び貯蔵品	207,067	223,150
繰延税金資産	36,299	35,191
その他	45,353	87,878
貸倒引当金	△8,587	△7,007
流動資産合計	7,923,460	7,058,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,252,369	1,214,184
土地	4,894,099	4,885,499
その他(純額)	919,741	849,439
有形固定資産合計	7,066,211	6,949,123
無形固定資産	199,912	199,818
投資その他の資産		
投資有価証券	539,400	521,270
その他	126,754	127,407
貸倒引当金	△33,128	△33,128
投資その他の資産合計	633,026	615,549
固定資産合計	7,899,149	7,764,491
資産合計	15,822,610	14,822,762
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,380,320	1,832,113
電子記録債務	849,044	1,116,054
短期借入金	4,482,492	3,422,932
未払法人税等	16,076	40,960
未払消費税等	120,288	49,324
未払費用	98,655	172,172
賞与引当金	86,494	57,522
役員賞与引当金	4,000	—
その他	352,878	332,189
流動負債合計	8,390,249	7,023,269
固定負債		
長期借入金	818,674	1,268,845
繰延税金負債	2,542	7,413
退職給付に係る負債	84,306	56,948
その他	255,112	219,842
固定負債合計	1,160,635	1,553,049
負債合計	9,550,885	8,576,319

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,800	2,019,800
資本剰余金	2,016,609	2,016,609
利益剰余金	2,068,676	2,052,608
自己株式	△74,211	△74,471
株主資本合計	6,030,874	6,014,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173,932	161,633
退職給付に係る調整累計額	66,917	56,578
その他の包括利益累計額合計	240,850	218,212
非支配株主持分	—	13,684
純資産合計	6,271,725	6,246,443
負債純資産合計	15,822,610	14,822,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	8,162,768	9,013,687
売上原価	6,892,620	7,598,465
売上総利益	1,270,148	1,415,221
販売費及び一般管理費	1,273,232	1,359,296
営業利益又は営業損失(△)	△3,084	55,925
営業外収益		
受取配当金	9,113	10,389
受取賃貸料	17,763	22,270
工業所有権実施許諾料	16,100	13,936
雑収入	29,187	17,541
営業外収益合計	72,165	64,138
営業外費用		
支払利息	25,937	21,988
賃貸費用	6,305	4,610
雑損失	5,104	4,360
営業外費用合計	37,347	30,959
経常利益	31,734	89,104
特別利益		
固定資産売却益	724	16,932
特別利益合計	724	16,932
特別損失		
固定資産売却損	3,311	—
固定資産除却損	4,907	—
事業整理損	—	12,987
特別損失合計	8,218	12,987
税金等調整前四半期純利益	24,239	93,050
法人税、住民税及び事業税	19,810	32,407
法人税等調整額	2,026	16,687
法人税等合計	21,836	49,095
四半期純利益	2,402	43,954
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1,684
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,402	42,270

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	2,402	43,954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,749	△12,299
退職給付に係る調整額	△986	△10,338
その他の包括利益合計	50,763	△22,637
四半期包括利益	53,166	21,316
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,166	19,632
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1,684

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。